

時間		想定される児童の発言 ●=児童の主な活動 「」=児童の反応	▼=指導のポイント ◆=評価する子どもの姿	教師の発問や提案
短	長			
導入 15分		水彩絵の具の基本的な使い方を知ろう。		
導入 30分		<p>めあて1 試した形や色から、思い付いたことを表したり、形の表し方を工夫したりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 絵の具の基本的な使い方を知る。</li> <li>● 自分の色をつくりながら、思いのままにかくことを楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▼ 絵の具の出し方(全色を出す)、パレットでの混色、筆洗などの扱いを一通り実演する。筆先で点々をかいたり細い線を引く、太い筆で面にするなど、教師がいくつか画用紙にかいて見せることで、絵の具を使ってかくことへの関心をもてるようにする。</li> <li>▼ 初めは混色せず、好きな色をそのまま使ってもよいことを伝える。</li> <li>◆ 水彩絵の具の基本的な使い方を知り、活動への関心をもつ。学</li> <li>◆ 混ぜたり重ねたりした色や形の水彩絵の具ならではの味わいを感じ取っている。鑑</li> </ul>	<p>● 試したことから、自分の色や形を見つけ、表したいことを考える。</p> <p>● 青にしよう。 ● なんかかすれたなあ。 ● 細い線がかけたよ。 ● あっ、にじんだ。きれいだなあ。</p>
展開 25分		<p>絵の具を混ぜたり、水の量を変えたりすると、いろいろな色ができるよ。筆を使って自分の色や形を見つけよう。</p> <p>めあて2 絵の具と水、筆で試しながら、自分の色や形をつくり、思いのままにかきながら思いに合う表し方を工夫する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 水と筆のいい関係を探しながら、自分の色をつくることを楽しむ。</li> <li>● 色づくりを楽しみながら、思いのままにかくことや感覚を通して、自分の色や形を見つけよう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▼ 水の加減や筆の動かし方をいろいろ試しながら、試し表す時間を十分に確保し、自分の色や形で表す楽しさを味わえるようにする。</li> <li>▼ 絵の具に進んで動きかけながら生まれてくる色や形から、どのようなイメージが広がっているか、児童の作りだした色や形に想像力を働かせて見守る。</li> <li>▼ 用具の扱いに困っている児童には、水の加減、タオルやパレットの使い方など、実際に筆を持つ児童の手を取り、一緒にやってみながら使い方を理解できるようにするとともに、できた色や形に共感的に寄り添う。</li> </ul>	<p>● 試したことから、自分の色や形を見つけ、表したいことを考える。</p> <p>● この色の隣に何色を置こうかな。 ● いろいろな点々ではずんでいく感じがする。 ● 水を少なくしたら、かすれていい感じ。スピード感が出たよ。 ● 色を重ねたら感じが変わったよ。 ● 絵の具を混ぜたら、すごくきれいな色が生まれたよ。</p>
展開 120分		<p>絵の具を混ぜたり、水の量を変えたりすると、いろいろな色ができるよ。筆を使って自分の色や形を見つけよう。</p> <p>めあて3 自分たちの作品のよさや表し方の違いなどを感じ取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 自分や友人のつくった色や形のよさ、面白さを伝え合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▼ 自分が友人の作品を見て、面白いところや工夫しているところを見つけ、交流する場を設定する。</li> <li>● 作品を見せながら、気に入っている色や形、表し方を工夫したところを発表するようにしてもよい。</li> <li>● 作品を机の上に置き、自由に鑑賞したり、鑑賞して感じたことを付箋などに書き、自由に交流したりしてもよい。</li> <li>◆ 自分や友人の色や形の面白さや表し方の工夫を感じ取り、気付いたことを発表している。鑑学</li> </ul>	<p>● 後片付けを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 筆はよく洗って、先を整えてしまう。</li> <li>● パレットは筆洗の水を使って洗う。</li> <li>● 用具の丁寧な片付け方を知る。</li> </ul>

時間		想定される児童の発言 ●=児童の主な活動 「」=児童の反応	▼=指導のポイント ◆=評価する子どもの姿	教師の発問や提案
短	長			
展開 (続き)		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自分の色や形で試し表しながら、思いに合う表し方を工夫する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▼ 児童が自分の色や形から表したいことを見つけられるよう、活動を認めたり、促したり、友だちとつなげたりする。</li> <li>◆ 混ぜたり重ねたりした色や形の水彩絵の具ならではの味わいに気づき、工夫して表している。知技</li> <li>◆ 思いのままに表しながら、自分の色や形を見つけ、イメージをもっている。発イ</li> </ul>	
振り返り 5分		<p>● 十分に試す時間を取るため、多くの作品ができあがることが予想される。児童の活動の様子を見ながら、活動の時間を調整する。</p> <p>実態に応じた時間の延長</p>		
振り返り 30分		<p>自分や友だちの作品を見て、面白いところや工夫して表していることを見つけ、気付いたことを発表しよう。</p> <p>めあて3 自分たちの作品のよさや表し方の違いなどを感じ取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 自分や友人のつくった色や形のよさ、面白さを伝え合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▼ 自分が友人の作品を見て、面白いところや工夫しているところを見つけ、交流する場を設定する。</li> <li>● 作品を見せながら、気に入っている色や形、表し方を工夫したところを発表するようにしてもよい。</li> <li>● 作品を机の上に置き、自由に鑑賞したり、鑑賞して感じたことを付箋などに書き、自由に交流したりしてもよい。</li> <li>◆ 自分や友人の色や形の面白さや表し方の工夫を感じ取り、気付いたことを発表している。鑑学</li> </ul>	<p>● 後片付けを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 筆はよく洗って、先を整えてしまう。</li> <li>● パレットは筆洗の水を使って洗う。</li> <li>● 用具の丁寧な片付け方を知る。</li> </ul>

**教科書の活用**

- 材料・用具ページを見ながら、絵の具の基本的な使い方について指導する。
- 導入時に教科書を見ることで、活動への関心や見通しをもつ。
- 教科書の掲載作品から、絵の具を混ぜたり水の量を変えたりすると絵の具の味わいが変わることを感じられるようにする。